

KYOTO PREFECTURAL
COLLEGE OF
AGRICULTURE
SCHOOL GUIDE

2025 学校案内

2024 活動記録

農業
やろうよ。



京都府立農業大学校



活動記録 2024

1年実習

基本実習

初めての実習では小農具、農機具等の使い方を学びます。



水稻実習

日本の農業の基礎である水稻について、共通科目として一連の管理作業を学びます。田植機、コンバイン運転も全員が体験します。収穫した米は食堂でいただきます。



農家派遣実習

約2週間、先進農家等で実際の現場を体験し、幅広い技術や農業経営を学びます。



野菜経営コース1年

主要野菜の栽培、出荷の実践を通じて基本的な野菜経営能力を習得します。



1年専門実習（野菜経営コース） 年間栽培計画

担当	ほ場名・品目	面積 (a)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
施設	7号ハウス・メロン(半促成)	2	△			■								○
	7号ハウス・メロン(抑制)	2				○	△		■					
	ハウス・オクラ	2	○		■	■■■	■■■	■■■	■■■					
	ハウス・ショウガ	2		△						■■■				◇
	露地 タマネギセット球	0.2		■				△		■				○
	露地 サツマイモ	0.2		△				■						◇
	露地 ジャガイモ	0.2			■									△
	露地 ジャガイモ(抑制)	0.2					△			■				
伝統	9号ハウス 伏見・万願寺トウガラシ	2.0	△		■■	■■■	■■■	■■■	■■■				○	
	24号ハウス ウリ類	1.4		△		■■								
	24号ハウス 葉菜	1.4						○	■	○	■	■		
	カボチャ他	2.0		△		■				■	■			○
	キャベツ	1.0				○○	△△		■■■	■■■				
	聖護院カブ・ダイコン	1.0						○			■■			
	タマネギ	1.2			■			○		△				
花き	16号ハウス ナス	1.0		△	■	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■			○	
	16号ハウス 賀茂ナス	0.5		△	■	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■			○	
	J ケイトウ・アスター	1.0	○	○		■	■■■							
	28号ハウス その他草花	0.5							○		■■			■■
	J コギク	2.0	△			■	■■							
露地	露地 キャベツ(5月どり)	0.2		■■					○	△				
	露地 キャベツ(初夏どり)	0.8		■	■■■								○	△ △
	露地 キャベツ(秋冬どり)	0.9				○○△	△ △		■■	■■■	■■			
	露地 ブロッコリー(初夏どり)	1.2	△	■	■							○	△	
	露地 ブロッコリー(秋冬どり)	0.4				○○	○○△	△△△	■■■	■■■	■■			
	露地 ハクサイ(5月どり)	1.2	△	■■	■							○	△	
	露地 ハクサイ(秋冬どり)	1.2					○○	△△		■■■	■			
	露地 ニンジン(初夏どり)	0.6	○		■■■	■								○
	露地 ニンジン(秋冬どり)	1.2				○	○ ○	○	■■	■■■				
	露地 タマネギ	0.3			■■					△				
	露地 ネギ	0.6			■■		■							△
	6号ハウス スイカ	1.6	○	△		■		■						

凡例 ○は種、△定植、■収穫、◇芽出し

2 年 実 習

実践プロジェクト計画に沿って実習を行い、課題遂行能力と野菜経営力を養います。



◇ 令和6年度実践プロジェクト学習課題一覧 ◇

コース	専 攻	氏 名	発表課題名
野菜経営	施設野菜	芦田 貴文	ピーマンを中心とした多品目栽培での自営を見据えた取り組み
		中島 侑希	ミニトマトの長期栽培と露地野菜の有機栽培
		藤井 遼太	ナスのガラス温室とビニールハウスの栽培比較
	伝統野菜	春田 蒼介	カボチャと葉物をメインとした経営
		吉田 恵武	私の将来に役立てるための取組
	野菜・花き	岡嶋 輝	安定した収入を目指す品目選定
		中野 起斗	農業知識ゼロの男が農業をやってみる!!
	露地野菜	黒瀬 基治	独立就農に向けた新規作物の栽培
		谷本 雄世	雇用就農に役立つ農業経営
茶業経営	茶 業	角田 碧	茶の自製自販を主体とした野菜・花きとの複合経営
		小寺 優斗	土地利用型作物の閑散期を利用し、野菜栽培を組み込んだ複合経営の実践
		武豊丈太郎	お茶と野菜栽培両立の実践

学校行事等

入学式

4月9日

12名の新入生が入学しました。



東海・近畿地区農業大学校学生スポーツ大会

5月30日、31日 滋賀県開催

京都府はバスケットボール、バドミントン、バレーボールに出場し、バスケットボールでは準優勝の好成績を収めました。



農大マルシェ

7月20日

農業大学校と学生自治会では、府民の皆様や入学希望者に広く農大を知っていただくため、農大マルシェを開催しています。

農大産の野菜・茶・花の販売をはじめ、各テントでは農業高校の野菜販売、地域のこだわり加工品の販売等約1,300名の方々に来校いただきました。



市場見学

9月10日

京都市中央市場で市場流通の現場を体験しました。



スマート農業見学

9月10日

京田辺市にある（株）杉田農園さんで最新技術を学びました。



体育祭

10月10日

秋晴れの中、体育委員の企画・運営で色々な
種目で争い親睦を深めました。
あ～楽しかった！



実践プロジェクト中間発表会 11月27日

実践プロジェクト成果発表会 2月26日



近畿・東海ブロック農業大学校生学生研究・意見発表会 1月16日

三重県で開催され、校内で選抜された代表者が堂々と発表しました。

発表内容



2年生京都府代表 角田 碧

「茶の自製自販を主体とした野菜・花きとの複合経営
～売上向上を目指して!～」

私は将来茶農家として経営していくときに、より多くの利益を出す方法を在学中に学びたいと考え、2年次のプロジェクトに取り組みました。

茶については、自製自販を行い、産直やシングルオリジン（単一品種）といった高付加価値化による収益向上を目指しました。

また、茶の直売にかかる労働時間増加を考慮した上で、経営の補完品目である野菜・花き栽培が成り立つかどうか検証を行いました。

栽培体系は茶と万願寺とうがらしを主体とし、隙間時間に野菜3品目・花き2品目を経営の補完品目として栽培した結果、主品目の茶と万願寺とうがらしは労働競合することなく、茶は市場出荷より直売の売上が高く、万願寺とうがらしは生産量、売上高、利益額が目標を上回ったことから経営の主体として妥当であることが確認できました。

補完品目では、5品目のうち、利益と労働時間を考慮するとスイートコーンが適当と考えられました。

このプロジェクトを通して、得られた知識や経験、技術を就農後に役立てていきたいです。



1年生京都府代表 福居 健

「機械化が進む農業 私が思い描くキクの未来」

京都府向日市の特産品である懸崖ギクは、コギクを竹で固定し、摘心しながら零型に形を整え、崖から垂れ下がったようにみせるキクで、菊花展などで見かける豪華なものです。その懸崖ギク生産も、近年では生産農家数が激減し、向日市では現在、一軒のみとなっています。

私は農業高校時代にその一軒の苗生産農家さんと一緒に課題解決に取り組む経験をしたことがきっかけで懸崖ギクに興味を持ちました。

懸崖ギクの衰退の原因は高齢化による一因もありますが、機械化できないことこそが、大きな原因ではないかと思っています。懸崖ギクの作業はすべて手作業で特別な技術が必要なため、機械化は難しいですが、イチゴの収穫機や無人トラクターなど漫画の世界が現実的な技術になっている今、懸崖ギクの機械化も現実となるのではないのでしょうか。

例えば凹凸のある曲がった面を一定の高さで刈り取る技術、これは車の洗車機のセンサーを応用できないか等既存の技術でも機械化の可能性があると思います。開発費は高いかもしれませんが、懸崖ギクの魅力を海外の方々にもPRする等需要が高くなる要素はあると思っています。

今後、懸崖ギク栽培の技術をマニュアル化し、後輩たちに継承し、機械化の模索を始め、未来に繋いでいくことが私の思い描くキクの未来です。

卒業生交流会

2月13日

卒業生から在校生へ熱いエールをもらいました。



知事表敬訪問

3月3日

卒業前に、京都府内で農業に従事する9名が知事に報告を行い激励を受けました。



卒業式

3月11日

農学科12名が卒業の日を迎え、多くの方々に卒業を祝っていただきました。



全国農業大学校協議会会長賞

角田 碧

京都府立農業大学校同窓会全国連盟会長賞

藤井 遼太

京都府立農業大学校同窓会長賞

芦田 貴文

京都府立農業大学校長賞

中島 侑希